

| | | | | | | |
|---------------|--|--------|------|------|----|---------|
| 申請者 | 学科名 | 造形デザイン | 職名 | 助教 | 氏名 | 榎尾 聡美 印 |
| 調査研究課題 | 独自技法による染色造形表現研究 | | | | | |
| 交付決定額 | 250,000円 | | | | | |
| 調査研究組織 | 氏名 | 所属・職 | 専門分野 | 役割分担 | | |
| | 代表 分担者 | | | | | |
| 調査研究実績 の概要 | <p>現代の美術はこれまでに存在した絵画や彫刻等のジャンルを越え、ファッションや音楽等あらゆるものを取り込み、広がりを見せている。このような状況下において、テキスタイルという素材を扱い染色技法を駆使して作品を制作するスタイルは、素材自身を持つ特性と、作り手が経験によって生み出す表現が合わさって深みを増し、絵画や彫刻等とは異なる良さを持つものになると考えられる。テキスタイルやファッションの分野を中心としながらも国内で開催されている幅広いジャンルの美術作品の調査を実施した。調査結果を踏まえ下記の展覧会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 展覧会名 榎尾 聡美展 ■ 会期 2014年11月8日～24日 ■ 会場 勝山文化往来館ひしお ■ 概要 元醤油蔵の天井の高い空間を活かし、縦6m×横5mの皮膚をテーマとして制作した染色布作品を展示。作品自体は触れることができないが2階に入口を設け、来場者に触れてもらえるように1枚のプリント布を入口に掛けて布の肌触りを感じてから会場に入る仕組みとした。会期中にはアーティストトークを行い、地域との交流及び造形表現の普及活動を行った。 | | | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>調査研究実績 の概要</p> | <div data-bbox="391 235 798 672"> </div> <div data-bbox="826 235 1492 672"> </div> <p>櫻尾聡美展会場風景</p> <p>今年度の実績から以下の展覧会依頼があり、現在作品制作を行っている。</p> <p>【次年度開催予定の展覧会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 展覧会名 心のひだ・きびの美術 ■ 会期 2015年5月1日～5月10日 ■ 会場 宝福寺 ■ 概要 総社にゆかりのある作家8名による展覧会。総社芸術祭参加企画。 ■ 出品者 草間喆雄 岡山県立大学名誉教授 岡部玄 島田清徳 岡山県立大学准教授 児玉知己 佐藤朋子 甲田千晴 櫻尾聡美 岡山県立大学助教 ■ 展覧会名 アペルト2 櫻尾聡美 生命の内側にひそむもの ■ 会期 2015年9月19日～2016年1月17日 ■ 会場 金沢21世紀美術館 長期インスタレーションルーム ■ 主催 金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団] ■ 概要 アペルトとは金沢21世紀美術館の若手作家を中心に個展形式で紹介する展覧会シリーズ。根展覧会のキュレーションは内呂博之学芸員が担当を行う。展覧会会期中は伝統工芸作家等との対談イベントを行い、芸術普及活動を行う予定である。 |
| <p>成果資料目録</p> | <p>山陽新聞掲載記事 平成26年11月20日発行 真庭タイムス掲載記事 平成26年11月13日発行 ひしお通信44号 掲載部分コピー 平成26年12月発行</p> |